

令和6年度 日本大学スポーツ科学部 個人研究費 研究実績報告書

所属： スポーツ科学部 競技スポーツ学科
資格： 専任講師
氏名： 加藤 幸真

研究課題名	日本におけるスポーツおよび身体活動・余暇活動の現状と課題
研究目的及び研究概要	(1) 研究の背景 これまでスポーツ社会学および近隣領域において、地域におけるスポーツ活動は主要な研究トピックとなっている。しかし、地域スポーツを考察するうえで、各自治体を対象とした事例研究が多く蓄積されているとは言えず、また課題も少なくない（森川ら1988）。 (2) 研究の目的 本研究は日本におけるスポーツ、身体活動、余暇活動について現状と課題を明らかにすることを目的とする。日本におけるスポーツ等の現状や課題を考察するうえで、多くの世代や、多くの地域のレクリエーション活動や健康政策なども調査し、考察を深める。本年度より首都圏以外にも対象地を拡大し、引き続き事例を蓄積していく予定である。またコロナウィルスの感染状況も踏まえ、可能であれば比較対象として海外（台湾等）も含めて現地調査を検討・実施する。
研究実績の概要 研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等	【研究の進捗状況】 2023年より中学校における運動部活動の地域移行が本格的に始まった。移行期間は2023年度～2025年度の3年間とされ、全国的に各地方自治体で移行が進んでいる。しかし、自治体により運動部活動地域移行の進捗状況はさまざまである。そのことを踏まえてその受け皿としてのクラブやスポーツ施設についての調査を実施した。 【得られた成果・今後の課題】 今年度は下記に記したように、関連学会において学会発表を行い、論文を投稿した。今後は、これらの発表を基礎として、さらに論文作成に取り組んでいく。 【研究実績等】 今年度は下記の発表を行った。 ①加藤幸真、部活動地域移行と静岡県の地域スポーツ、富士学会2024年春季学術大会2024年6月、静岡県富士市 ②加藤幸真・上原優香・松尾絵梨子・北田典子・小沼直子、女性アスリートの健康問題に関する調査研究、第10回日本健康レクリエーション学会大会、2025年3月、鹿児島県奄美市 ③中島理恵・小沼直子・加藤幸真・上原優香・渡邊文之、現代女性における健康知識およびソーシャルサポートとメンタルヘルスの関連、日本薬学会第145年会、2025年3月、福岡県福岡市 論文投稿は下記の通りである。 ①加藤幸真（2024）静岡県における総合型地域スポーツクラブの育成状況とその特性、富士学研究、19巻2号、pp. 23-29